

## 一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター

## 登戸・たまがわうんどう会

2022年2月26日、多摩区の地域資源である多摩川の河川敷で、地域の子どもたちが思いっきり体を動かすことができるうんどう会を開催しました。子どもたちが運動を楽しむだけでなく、大人や学生も含めた地域の方々の交流を創出することを大切に、企画・運営を行いました。当日は、参加者が午前の部と午後の部を合わせ約200名集まり、大変賑わいました。



## 登戸・たまがわうんどう会

コロナ禍でいろいろ制限はあるけれど...

外で友達と体を思いっきり動かしたい



こども

同じ世代の子育て仲間と繋がる機会が欲しい



親

もっと人脈の輪を広げたい



学生

河川敷のもっといい使い方はないかなあ



### 地域の賑わいを創出するには...

○学生主体で企画・運営！  
学生スタッフを集めるために、周囲の知り合いをどんどん誘い込みました。学生が、親・子どもそれぞれの気持ちに寄り添い、企画を進めました。

○地域資源を活用！  
→会場を多摩川の河川敷にしました。

○同世代の親が集える機会を創出！  
たくさんの親子に参加してもらうために、地域の小学校や保育園にチラシを配布しました。

○みんなで楽しめるうんどう会を開催！  
年齢に応じてコートやルール等を工夫しました。

【しっぽ取り】



【障害物競走】



【だるまさんがころんだ】



【たまいれ】



【二人三脚】



〈工夫した点〉  
全体→年齢ごとでコートを変える。順位はつけない。  
保護者の方が子供の写真を撮りやすいように配慮する。  
しっぽ取り→体にしっぽをつけた学生が鬼となり、未就学児が追いかける。  
障害物競走→年齢に応じてミッションを変える。  
だるまさんがころんだ→審判を設ける、学生が近くで補助する。  
たまいれ→未就学児は、玉を掴んでかごに直接運び入れる。  
二人三脚→親とペアを組む。未就学児は、足ではなく手同士をタオルで結ぶ。

〈参加したの方のお声〉  
(保護者) ・コロナ禍で友達やママ同士の交流が減ってしまっているので、外で皆でおもいっきり体を動かせるイベントはとてありがたかった。  
また、外ならコロナ感染の心配が少なくなるので参加しやすかった。  
・子供に話しかけられたり話しかけてくれた時に笑顔で対応してくれたのが嬉しかったです。  
(学生) ・初めての参加したが、学生の規模や企画力に感銘を受けた。また、学生スタッフの方ともコミュニケーションを取ることができ、とても楽しい一日になった。

問い合わせ先  
多摩区ソーシャルデザインセンター  
〒214-8570 神奈川県川崎市多摩区登戸1775-1 多摩区総合庁舎1階  
TEL 044-281-4422



←詳しくは、HPをご覧ください！